



近江屋喜兵衛

桐生新町重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）の中心施設・有鄰館（旧矢野蔵群）の南に、1904年（明治37）に建てられた邸宅を食事処に改修した「近江屋喜兵衛（おおみやきへい）」が3月19日にオープンした。近江商人にルーツを持つ株式会社矢野（鏝田実社長）の創業300年記念事業の一環で、有鄰館や御茶処・矢野園、桐生歴史文化資料館とともに、重伝建地区に歴史と観光を体感できる新たな施設が生まれた。

建物は日本最大の撚糸工場・日本絹撚株式会社を創業した前原悠一郎が建てたもので、敷地内には1915年（大正4）造の石蔵や稲荷社、井戸屋形も配される。元々は幕末の蘭学者で洋画家・渡辺崋山ゆかりの買継商・岩本家が暮らした地。その後、前原家にわたり、戦後は桐生初の公職市長・前原一治・癸美子夫妻の邸宅となった。

店内にアクセスする庭園には桐生で開発されたウッドチップブロックが敷かれ、周囲を囲む蔵とともに閑静な空間を演出している。客席は椅子24席でランチタイムにはポークソテーやパスタなどの洋食を提供する。セット価格で1,000円からとリーズナブルに設定されており、純和風で格調高い雰囲気味わいながら気軽に食事を楽しむことができる。また、パフェやあんみつなどデザートメニューも豊富で、重伝建散策の休憩場所としても活用が期待される。ディナーメニューは予約制のしゃぶしゃぶコースを用意。近江日野牛と赤城牛から選択可能で、特に前者は矢野家発祥の地から仕入れる高級牛で矢野ゆかりの味を堪能できる。

敷地内の石蔵も「ギャラリー喜兵衛」として展示場に整備された。また、隣接する矢野園は店内の改装が予定されており、日本茶専門店として一煎茶を提供する。矢野家の祖である近江屋喜兵衛からとった店名は、矢野が創業当時使用していた屋号でもある。新たな拠点を携えた矢野300年の歴史が、重伝建地区の桐生観光をますます充実させる。



矢野300年の歴史がもてなす
重伝建地区の新たな観光拠点

- 住所／桐生市本町2-124 ●電話／0277-44-0038
- 営業時間／午前11時～午後9時（ラストオーダー午後8時30分） 毎週月曜日定休
- 株矢野HP／<http://www.kkyano.co.jp/>